

[建築・電気科3年] 建築コース ようこそ先輩



令和2年1月16日(木)、本校建築科を卒業した大先輩が来校され、建築・電気科3年の建築コース27名の後輩に対して、現場で使われているICT技術についてわかりやすく説明していただきました。また、仕事に取り組む姿勢や辛い時期の乗り越え方について実例を挙げながら話していただき、これから社会に出て行く生徒にとって非常に有意義な講話となりました。

講師を務めてくださったのは、株式会社毛利組 常務取締役 黒川秀幸様、
工務部主任 塩田優一様、総務部 佐々木信也様 先輩の皆さんありがとうございました。

<生徒の感想>

仕事に対してどう関わっていいのかわからず、不安なことが多く心配していましたが、今日は自分のためになるお話をしてくださったなと思いました。どの会社に入ってもきっと、しんどいし辞めたくることがあると思いますが、やっぱりみんな乗り越えてきたことは一緒なんだと感じました。仕事を辞めたいと思う1, 3, 5年は友達に頼り、失敗してもそれをバネにして壁を乗り越えていくことが大切だということがわかりました。仕事は大変なものと思うだけでなく、仕事に対して充実感や達成感を感じながら仕事をすることも大切だとわかり、私もそう感じながら仕事に取り組めたらいいなと思いました。一番心に残ったことは「仕事をするのなら誰でもできる。考えながら仕事をするのが大切だ。」ということです。また、「ベテランの人だけではなく若い人のアイデアも時には参考になる。」ということを知ったので、社会に出てからどんどん発信していこうと思います。会社は違いますが、私は同じ建設業界として、学校の先輩として経験してきた苦労や達成感をお話してくださったので、今心に残っていることを就職してからも忘れずしっかり会社で働いていきます。